

旧統一協会問題 徹底追及を表明

小池書記局長が会見



日本共産党の小池晃書記局長は19日、旧統一協会の問題について国会内で記者会見しました（右写真）。旧統一協会は、洗脳された信者たちが正体を偽って勧誘活動を行うなど「カルト」と呼ばれる反社会的な団体です。日本共産党は以前からこの問題を国会で取り上げ、地域や学園でも追及してきました。小池書記局長は高額献金などの被害者救済に全力をあげるとともに、自民党などとの癒着の実態を徹底的に追及していくと表明しました。

被害者の救済に全力をあげる

小池氏は、旧統一協会は、靈感商法や集団結婚など、社会的に多くの問題を起こし、多数の被害者を生んできたと指摘。「高額な献金の強要や、正体を隠して行う『伝道』は裁判でも違法性が指摘されてきた」と述べました。

また、全国灵感商法対策弁護士連絡会が、全ての国会議員に対して、旧統一協会やその正体を隠したイベントに参加・賛同しないよう求めてきた一方で、自民党など多くの議員が関連団体の集会に参加したり、メッセージを送っていたことが明らかになっ

ていると指摘。「改めて、旧統一協会による献金や『伝道』活動などの問題点を明らかにし、被害者の救済に全力をあげる必要がある」と強調しました。

同時に、「自民党と旧統一協会の癒着や、旧統一協会による政界工作の全容を解明することが必要だ」と強調し、関係者の国会招致なども必要になると表明。安倍晋三元首相銃撃事件との関わりについても真相を明らかにしていくことが求められるとしました。

【安倍氏と旧統一協会との関係について2面もご覧ください】

自民党との癒着、政界工作の全容の解明も、求めていきます。

安倍^{元首相}旧統一協会と 3代続く関係

安倍晋三元首相のビデオメッセージが昨年9月12日、旧統一協会の関連団体「天宙平和連合（UPF）」がオンラインで開いた集会で流れました（右の写真、YouTube から）。安倍氏は、統一協会の開祖・文鮮明（2012年に死去）の妻でUPF総裁の韓鶴子の名をあげて「UPFと共に世界各地の紛争の解決、とりわけ朝鮮半島の平和的統一に向けて努力されてきた韓鶴子総裁をはじめ皆様に敬意を表します」と持ち上げました。



“ビデオ出演は選挙協力あったから” しんぶん赤旗^(24日付)日曜版が報道

UPF ジャパンの梶栗正義議長（国際勝共連合会長）は21年10月中旬、都内で行われた旧統一協会の日曜礼拝の場で、このビデオメッセージの舞台裏を明かしました。

ジャーナリストの鈴木エイト氏がこの音声データを入手。「全国弁連通信」（21年10月21日号）でも紹介されています。

オンライン集会を前に梶栗議長は、安倍氏以外にも「ある首相経験者に別途3人アプローチしていた」が「3人の元首相からはソッポを向かれた」と発言。「UPFと言ったってそんなのは家庭連合の宗教団体のフロント組織でしょ？」といわれたと明かしました。

安倍氏については同年春ごろから打診。UPFの集会でトランプ前大統領が講演することが決まったことを伝え、同8月下旬に了解を得て、9月上旬にビデオメッセージの撮影が実現したと語っています。

「この信頼関係がいったいどうやってできたのか。

一朝一夕の話ではないんです。」と語る梶栗議長。安倍氏と会食した際、安倍氏の祖父の岸信介元首相や父の安倍晋太郎元外相と教団幹部の写真を持参し、「『3代のお付き合いだ』『3代の因縁である』とお見せした」とのべました。

旧統一協会の選挙協力をにおわせる発言も——。「この8年弱の政権下において6度の国政選挙において私たちが示した誠意というものもちゃんと（安倍氏）本人が記憶していました。こういう背景がございました」（梶栗議長）

梶栗議長の発言は、安倍氏と旧統一協会との関係の深さを物語っています。

安倍氏の国会事務所は21年9月当時の「赤旗」日刊紙の取材に「この件に関してはUPFの事務所に問い合わせてください」と回答していました。UPジャパンは梶栗氏の発言についての赤旗日曜版編集部の質問に期限までに回答しませんでした。